

# ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	鈴木 二美枝
主な担当科目	音楽教養表現Ⅱ
シラバス	<a href="#">ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。)</a> <a href="#">※画面下「シラバス」&gt;「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック</a>
2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	本年度も短大・学部・修士のピアノ実技レッスン、副科グループレッスン、音楽教養コース各授業を担当させていただいている。学修サポート等では学生の声聞かせていただいている。ピアノ個人及びグループレッスン、担当授業では本学在籍時における各学生たちの目指す自己実現に向けた高い目標や新鮮な発想を大切に、柔軟にきめ細かい指導で導くことを目指す。また、学生たちが率直な声を届けられる大学教員としてのコミュニケーションを大切にしていきたい。
2023年の教育に関する自己評価	短大・学部・修士実技レッスンでは、各学生の気づきを大切にし自発的に目標を掲げ積極的に取り組み音楽力を養うことに繋がった。また、学びや研究の機会を導き専門力の高い音楽的視野を広げることができたことは、修了後の音楽人生に大きな力となることと期待している。副科グループレッスンでは各学生のこれまでの専門的な音楽的背景を大切にピアノの学びと関連づけたレッスンを心がけた。音楽教養コースコンサートでは、学生たちの豊富なアイデアやコンサートへの期待を大切に、可能な限り実現に向けサポートすることにバランスをもって心がけた。
2023年のFD活動に関する自己評価	本年度のテーマに基づく、大学全体FD研修会、鍵盤楽器ならびに音楽教養の学内組織におけるFD研修会、SD研修会(オンデマンド参加)と大学教員質向上のための研修会が実施され参加した。更に他大学の先生方による動画を視聴し、チャットGPTについて新鮮な角度から考えることができた。
授業改善のために取り入れた研修内容	鍵盤楽器部会FD研修会でのオコーナー教授による講座で、大学人に求められる演奏力と教授力の大切さをあらためて認識した。教授では新たな美しさやイマジネーションを与えられる喜びを感じることができると。大学生には卒業後社会で如何に自身をマネジメントするか、PCを使いこなしSNS発信、人前で話すことの大切さなどコミュニケーション力と自己企画力を養うことの大切さ等話されたことを享受し、学生にも適宜教授するよう努めた。

## 2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:0110 教員名:鈴木二美枝

### 1)アンケート結果に対する所見

個人レッスン、グループレッスン、授業においては其々におけるコミュニケーションに触れてコメントをいただいた。アンケート結果と共に概ね良好のようだ。中には、教員や他学生とのコミュニケーションを深く取れる唯一の科目と捉えているという学生の意見もあった。これらの科目においては、学生が広い視野を持てるよう目標達成を導くが、これについては、授業の到達目標から、一人ひとりの音楽力が根底にあってこそそのコミュニケーションであると考えている。

### 2)要望への対応・改善方策

アンケートの回答数が少ない科目については、タイミングを逃さずに回答の協力を得られるように指導していく。履修科目における問題点とその改善策について、具体的な考えをまとめられるほど、より良い学びに向き合ってくれる学生の意見があった。これらについては、次年度シラバスに可能な限り反映しているが、変化する学修環境において共有し、更に柔軟に反映できるよう検討していく。

### 3)今後の課題

「学生による授業アンケート」をより有効なものにしていくためには、履修者数分のアンケート結果を得られるように協力を求めていくことが大切であることは言うまでもない。「回答することの意味するもの」と同時に「回答しないことの意味するもの」について、配慮しながら伝えていくことも必要なのではないかと考える。

以 上